



きらくなたより

♪せつすべ春ですわえ♪

今頃の季節、キャンディーズのこの歌が思い起こされます。若い人たちは知りませんか？

二十四節気の一つ「雨水うすい」が過ぎました。ちなみに二十四節気は半月ごとの季節の変化を示しています。雨水はご存知のように「冷たい雪の季節から暖かい雨の季節に変わりますよ」といって、昔から農作業が始まる目安とされています。

中田町の「花木団地」の桜も出荷が始まり、知人より数枝頂戴したので、居間に飾っておきましたら、硬い蕾がみるみる色づき始めました。八丁目のガードレールの下でも、水仙の芽が大きく膨らみ、春の兆しがあちこちで見られます。

まだまだ本格的ではありません。寒い日もあります。高齢者には雨水よりも「鼻水」が心配でしょうか。



大泥棒、石川五右衛門が、釜茹での刑に処せられた時の辞世の句

「石川や 浜の真砂は尽くるとも 世に盗人の種は尽くまじ」 これをもじって「七丁目 浜の真砂は尽くるとも 世に犬クソの影は尽くまじ」

昨年の二月号で「緑ヶ丘古墳群」の話題を上げました。以来、きらくな会を始め良識ある飼い主の努力で、町内の糞害が減少し本当に嬉しく思っていました。ところがどっこい、そう簡単には事が進まないようです。最近はまだ増え始め、特に、前田公園周りと、北側ガードレール沿いに目立ちます。

犯人が七丁目の住人ばかりとは言えませんが、少しでも減らせるように、会員一同、根気強く続けて行くつもりです。ご協力よろしくお願いします。

物置を貰いました

1月から緊急仮設住宅の解体が始まるため、12月26日に物置1台を福島県建築住宅課より、連合会を通して無償払い下げをして貰いました。集会所に移設し、きらくな会でグランドゴルフの道具、園芸道具、環境整備道具などの収納に使用します。

仮設撤去も本格的に始まるようで、住民の住んでいない住宅が寒々と並んでいます。住民の皆様方は、それぞれ新しい転地に行かれたようですが、大変な目に遭われた方々です。転地先でのご多幸を祈らずにはられません。どうかお幸せに！



モリタコウイチの「青春時代」の替え歌です。

(You Tube より)

- ① 退職までの半年で 答えを出せと言っけれど 加入期間が短くて 年金貰える当てがない 年金時代が夢なんて 現役時代の甘い夢 年金時代の入り口は 先の見えない事ばかり
- ② 体はもはやあの頃の 盛りを過ぎてしまったが 胃腸や肝臓カタカタで おまけに糖尿五十肩 年金時代が夢なんて 現役時代の甘い夢 年金時代の真ん中は 医者に通っているばかり
- ③ 年金暮らしを 良くしたい 誰でもみんなが思うこと 年金暮らしを笑うため 今はみんなで頑張ろう

